

令和2年第3回総務文教常任委員会 要点記録													
開閉会日時		令和2年4月14日(火曜日)			開会	10:00		会議場所		別海町議会 委員会室2・3			
					閉会	12:05							
委員の出欠		3 番	田村 秀男	出席	5 番	外山 浩司	出席	8 番	松壽 孝雄	出席			
		13 番	中村 忠士	出席	15 番	戸田 憲悦	出席						
出席説明員	総務部	総務部長			総務部次長兼総務課長		総合政策課長		財政課長				
		浦山 吉人		出席	佐々木栄典		出席	三戸 俊人		出席	寺尾真太郎		出席
		税務課長			防災交通課長			西春別支所長		尾岱沼支所長			
		伊藤 輝幸		出席	麻郷地 聡		出席	田村 康行		出席	福原 義人		出席
		総務課主幹			総務課主幹			総合政策課主幹		財政課主幹			
		齋藤 陽		出席	山田 哲哉		出席	皆川 学		出席	角川 具哉		欠席
		税務課主幹			防災交通課主幹			総務課主査		総合政策課主査			
		松田 勝広		欠席	深川 淳一		出席	池田 大海		出席	大森 圭介		出席
		財政課主査			税務課主査			防災交通課主査		防災交通課主査			
		佐藤 貴也		欠席	高橋 克彦		欠席	相馬 儀彰		欠席	武田 聖士		出席
		西春別支所主査											
		門間 勝司		欠席									
	出納室	会計管理者			出納室長		出納室主査						
		阿部 美幸		欠席	佐々木いずみ		欠席	吉田 知恵美		欠席			
		監査委員事務局長											
		小林 由治		欠席									
	別海消防署	別海消防署長			別海消防署副署長		別海消防署副署長兼警防課長						
		山田 勝人		欠席	山桑 貴光		欠席	西塚 隆幸		欠席			
	教育委員会	教育部長			生涯学習センター建設準備室長		教育部次長兼生涯学習課長他		指導主幹				
		山田 一志		出席	山岸 英一		欠席	石川 誠		出席	住吉 幹城		欠席
		指導参事			学務課長兼学校給食センター長			学校教育課長		中央公民館長			
		根本 渉		出席	宮本 栄一		出席	入倉 伸顕		出席	内山 宏		出席
		西公民館長			東公民館長			図書館長・郷土資料館長他		学校教育課主幹			
		田村 康行		出席	福原 義人		出席	新堀 光行		出席	池田 卓也		出席
		生涯学習課主幹			中央公民館副館長			西公民館副館長		東公民館副館長			
		戸田 博史		欠席	小村 茂		出席	木戸口 誠		欠席	立澤 雅彦		欠席
		図書館主幹			郷土資料館主幹			学務課主査		学務課主査他			
		堺 啓		欠席	石渡 一人		欠席	佐藤 亮		出席	大山 晋作		出席
	学校教育課主査			生涯学習課主査			生涯学習課主査他		学校給食センター主査				
	高津 寛人		出席	恒川 敦史		出席	上杉 大洋		出席	成瀬 広子		欠席	
	委員外の出席		議長		西原 浩				傍聴者		0名		
	事務局職員		事務局長		小島 実		事務局主幹		松本 博史				
	会議に付した事件及び会議結果など												
	発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。										
	委員長 8番 松壽		9:55 開会										
			出席委員5名、員外 西原議長、調査期間1日										
		【教育委員会所管事務調査】											
委員長 8番 松壽		挨拶											
教育部長 山田		挨拶											
教育部長 山田		4月1日付人事異動発令に伴う異動職員の紹介											
教育部長 山田		経過報告及び調査概要説明											
		① 新型コロナウイルス感染症対策について											
		② 別海高等学校支援事業実績及び予算について											
委員長 8番 松壽		議事1 所管事務調査について											
		(1)北海道別海高等学校教育支援事業について(寄宿施設等助成事業)											

令和2年第3回総務文教常任委員会 要点記録

学務課長	宮本
学務課長	宮本
教育部次長	石川
生涯学習課主査	上杉
委員長	8番 松壽
副委員長	5番 外山
教育部次長	石川
副委員長	5番 外山
委員	3番 田村
学務課主査	佐藤
委員	3番 田村
学務課主査	佐藤
議長	西原
委員長	8番 松壽
議長	西原
学務課長	宮本
学務課主査	佐藤
議長	西原
学務課長	宮本

資料により概要説明

別海高等学校支援事業実績及び予算について

学務課所管事業内容説明

資料中番号① バス通学費の全額助成

資料中番号④ 進学対策支援 e－ラーニング受講補助

- 以下の事業については、後ほど詳細に説明する。

資料中番号⑨ 寄宿施設等の利用者助成（保護者助成）及び設置者助成（空室助成）

生涯学習課所管事業内容説明

資料中番号③ 部活動遠征費補助

資料中番号⑧ 部活動外部指導者派遣事業

同じく生涯学習課所管事業内容説明

資料中番号⑦ 海外派遣事業補助

質疑

① 外部指導者派遣事業について、道教委の登録が認められたということであるが、町と道からの支給額をあわせるとどの程度になるのか。

① 町の外部指導者派遣事業による支給額については、昨年度は920円/時間であり、今年度は970円/時間となっている。道教委の支給額は、1,600円/時間となっており、土曜・日曜の練習、遠征時の指導について充てる。道教委の支給範囲は、年間20～30万円の範囲、町の事業費は112万1,000円となっている。

① 引き続きさらなる待遇改善を求めたい。

① e－ラーニング受講補助について、補助の仕方はどのようになっているか。

① 昨年度は、高校の全生徒が受講できるように1人当たり6,000円を補助している。現在は、リクルート社の「スタディアプリ」というツールを利用している。28年度以前は、希望者のみ受講していたが、現在は、全生徒がe－ラーニングを受講できるため、全生徒分を補助している。

① 1人当たり6,000円の補助というのは、100%補助か。

① 全額100%補助である。

- 委員長、発言してよろしいか。
- 発言を許可する。

① バス通学助成について、高校から居住地までの距離を4km以上の保護者に限って助成対象要件とした理由は。

② 寄宿施設の生徒もバス通学助成の対象としてほしいという声が多い。天候の悪い日などの対応など、検討の状況は。

① 理由を確認して、後ほどお知らせしたい。※次回の委員会調査で説明することとなった。

② 寄宿施設と高校の距離は2.3kmであり、現在、助成対象外となっている。入居者から要望は聞いている。特に天候が悪いとき、体調が悪いときは、事業者が送迎の対応をしている。このケース以外の支援ができないか事業者が検討している。

①② バス通学費助成の拡大を求める声は多い。支援の充実をしてほしい。今後の検討についての考え方は。

①② 西原議長から求めがあったが、バス通学助成の対象距離を狭める内容にすると、寄宿施設から変わらない距離から通っている生徒も対象としなければならないことや、寄宿施設入居者にさらなる厚い支援をすることについては、町民感情も考慮し、慎重に検討したい。

- 資料「地域人材を担う別海高等学校の魅力ある学校づくり」については、後ほど確認願いたい。続いて、寄宿施設の入居実績及び収支実績を担当主査から説明する。

令和2年第3回総務文教常任委員会 要点記録

	資料により内容説明
学務課主査 佐藤	寄宿施設（プラザハウス）入居実績
	① 平成30年度の最多入居状況及び年度末入居状況 ② 令和元年度の最多入居状況及び年度末入居状況 ③ 令和2年度4月現在の入居状況
	別海高校寄宿舎運用収支実績予定表
	北海道別海高等学校生徒用寄宿施設設置に関する協定書
	質疑
委員 3番 田村	① 収支実績予定について、当初の議会に対する説明において配布された資料の数字とかなり乖離している。乖離の要因を確認しているか。営業利益、水道光熱費など、大きく計画と実績で乖離しているが。その説明がないと納得に至らない。
	休憩 10:37 答弁調整 再開 10:42
学務課主査 佐藤	
	① 当初、事業者から収支計画の提出を受け、助成事業の参考とした。実績については精査しており、今年度の助成に当たっても精査をしている。なお、その精査の中で、保護者が負担している実費負担に係る支出の総額は、計画当初と大差がないため、助成額は変更していない。個別の科目において乖離はあるが、実費負担額に相当する売上原価（食費）及び水道光熱費については、人数で割り返し、保護者の負担額及び助成金の参考としている。
委員 3番 田村	① 租税公課や水道光熱費など、本来そうそう大きく見込みがずれない経費の乖離が大きすぎる。
教育部長 山田	① 当初計画の段階で策定された計画は、大きな施設でもあることから、特に水道光熱費についてはある程度大雑把に見積もっていたと考えられるが、実情と違ってしまった。かけ離れた数字にはなっているが、実績として事業者から示されている数字は、教育委員会として内容を精査している。水道光熱費についても、個別の使用分、共用部分の使用分まで細かに確認している。今後も、各年度の実績に応じて内容を確認していくので理解願いたい。
委員 3番 田村	① 私が心配しているのは、租税公課だけでなく、支払手数料が6万円と予定していたものが70万円強の実績となっており10倍以上違い、これらの乖離部分の説明責任が必要ではないかということである。
副委員長 5番 外山	① 給与・賃金が年間420万円の実績であるが、何名の方で施設を運用しているのか。 ② 保護者の声、子供たちの声を拾うため寄宿施設管理運営協議会で協議していると思うが、その協議の様子を伺いたい。
学務課主査 佐藤	① 現在、管理人が1名、料理人が1名の2名体制となっている。 ② 町教委で個別にアンケートをとっている。施設としても帰省時に保護者に対してアンケートをとって声を拾っている。
教育部長 山田	② 補足であるが、寄宿施設管理運営協議会は、年に2回開催している。2月と9月に開催している。常任委員会から指摘されている件は申し入れしている。なかなか働く人が見つからないということも事業者から聞いているが、当初の計画に人員体制が組まれているし、高校生と議会との意見交換会の中で、高校生から「料理をされている方が大変そうだと心配している」という意見があったことも伝えている。改善に向けては、もう少し時間をいただきたい。
副委員長 5番 外山	① 当初、女性の副管理人を置くという説明であったため、調理人の方がその職を兼ねていると推察する。部長が述べたとおり今後改善してほしい。 ③ 洗濯機の使用に100円かかり、乾燥機の使用に200円かかり、使用する時間が制限されていることが、生徒の困りごとのようである。網戸の隙間の件も

令和2年第3回総務文教常任委員会 要点記録

		困っているようだ。直に入居している生徒の声を聴いて管理者に問題を伝えてほしい。
教育部長	山田	③ 寄宿施設管理運営協議会の協議の場以外にも、直接事業者に指導する機会があるため、そうした機会を活用して対応していきたい。
委員長	8番 松壽	議事2 その他
		(1) 新型コロナウイルス感染症に係る学校等の対応について
教育部長	山田	資料により内容説明
		新型コロナウイルス感染症に係る臨時休校等の対応経過について
		1 町立小中学校・認定こども園（幼稚園）について
		2 スクールバスの対応について
		3 学校再開にあたっての留意事項について
		4 出席停止の取扱いについて
		5 臨時休業の取扱いについて
		6 社会教育施設の状況について
		7 感染防止対策について
		8 学校等で必要とされる物品等の調達について
		9 その他
委員長	8番 松壽	質問
副委員長	5番 外山	① 子供たちへのマスクの着用状況は。
		② 学力の保障の対応は。
学校教育課長	入倉	① 全児童・生徒がマスクを着用していると聞き取りしている。
指導参事	根本	② 小学校は平均18時間の授業の不足、中学校は同じく平均17時間、中央値は16時間であり、各学校多少違いはあるが、16～18時間の不足となっている。この不足分を補う授業の実施についての詳細は、ゴールデンウィーク明けに校長会と詰めていく。
		① 学校現場のマスクについて、今後の推移を心配する声が聞こえてくる。今後の予測と対策は。
		② 教職員は個人調達との説明であったが、先生方についてのマスクの確保はどのようになるのか。
		③ センサー体温計配備の実情と見通しは。
		④ 中央小・中央中・上西春別小・上西春別中の30人以上の学級は、「3密対応」の限界があると思うが、対策は考えているのか。
教育部長	山田	①② 現状も品薄である市場の状況だが、幾分出回っているとの情報を確認している。国から支給される布製マスクが届いている。替えの分も含めて2枚と理解しているため、マスクができないという状況は避けられる。また、入学式用に学校に配布したが、そのストックが若干ある場合、それを融通して使用することも仕方がないと考えている。
		③ 時間をかけず健康観察をするためにセンサー体温計を用意しようと努めている。学校からもセンサー体温計の求めがある。しかし、納期が3カ月後という状況なので、現在は30秒計などで対応している。センサー体温計を今は購入できないが、学校側がスムーズに健康観察できるように対応していきたい。
学校教育課長	入倉	④ 「3密」にならないように対応している。時間単位で換気に取り組んでいる。机は、隣とくっつけないようにしている。国からは、1.5m間隔をとれなくても授業ができるという通達が来ている。
委員	13番 中村	③ センター体温計は、どの学校にもないのか。30秒計は、各学校にあるのか。
		③ どの学校に何があるかは、手元に資料がないためお答えできない。各学校に必要なものを購入してもらうよう対応している。健康観察は、家庭で行い、健康管理シートを児童・生徒が持参し、内容を確認して対応している。
委員	13番 中村	③ 体温計の配備状況を調べているが、手元に資料がないのか。それとも調

令和2年第3回総務文教常任委員会 要点記録

		べていないのか。どちらであるのか。
学校教育課主幹	池田	③ 各学校への確認は行っているが、手元に資料がない。記憶では、中央小に1つあり、また、他の学校でもある学校とない学校がある。
議長	西原	① 健康管理シートは、児童・生徒のほか教員も記入しているのか。給食センターの職員はどうか。
		② 非常事態宣言の対象地域に赴いた教員の行動規範を考える予定はあるか。
学校教育課長	入倉	① 幼小中の先生も、健康管理シートの記入対象としている。
教育部長	山田	② 教育現場に限らない課題と認識している。特に、職員に関しては意識を持つ必要がある。個人的なことであるが、感染地域に行かないように、不要不急の行動をとらないように、ということは当然であるが、どうしても感染地域に行くケースがある場合は、職員に対して報告を求めようと考えていた。学校にも、そうした要請をしたいと考えている。
議長	西原	① 給食センター職員について答弁漏れがある。
学務課長	宮本	① 給食センター職員も、健康管理シートの記入を行っている。
議長	西原	② 行動規範は、町全体として取り組むべきであるとする。現時点で成文化されたものはないが、明文化されている効果があると思う。町の連絡会議でも検討されていることとは思うが、この件については、機会があるごとに議会として求めていきたいと考えている。
		② 承知した。
教育部長	山田	休憩 11:26 再開 11:42 【総務部所管事務調査】
委員長	8番 松壽	挨拶
総務部長	浦山	挨拶
総務部長	浦山	4月1日付人事異動に伴う異動発令者紹介 同昇格発令者紹介 同昇任発令者紹介 経過報告
		① 新型コロナウイルス感染症対策について ・ 消毒薬剤の無償提供及び町民への配布について ・ 飲食店及び宿泊業者に対する上下水道料金の減免について ・ 庁内連絡会議におけるその他の検討状況について
委員長	8番 松壽	調査概要説明
		議事1 所管事務調査について
総合政策課長	三戸	(2) 第7次別海町総合計画第2次実施計画の内容について
委員長	8番 松壽	資料により内容説明
委員	3番 田村	質疑
		① 「第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」がホームページに掲載されているが、この第7次総合計画各事業について、総合戦略に掲げている事業を色付けしているのか。
総合政策課長	三戸	① 資料中の「ふるさと応援制度推進事業」「移住定住促進事業」などは、総合戦略に掲げている事業である。
委員	3番 田村	① 「総合戦略の目標である人口に特化した事業はこれだ」ということを総合計画の中で色付けしてアピールする必要がある。わかりやすく明示する工夫が必要ではないかということを聞いている。
総務部長	浦山	① 本日の資料には明示していないが、最終的にはホームページへの公表や資料の配布においては、「見える化」するよう、資料の作り方を工夫したい。
委員長	8番 松壽	議事2 その他
		(2) その他

令和2年第3回総務文教常任委員会 要点記録			
議長	西原		・ 新型コロナウイルス感染症対策について経過報告があったが、緊急事態宣言が国から出されて、町民の行動についてどのように方針を示していくのか。宣言の対象地域に行かないように、あるいは行った場合の報告はどのように考えているか。 ・ 職員向けには、定期的な庁内連絡会議の中で対応を検討しているが、国あるいは道から緊急事態宣言が出されたということを受けて、折に触れて連絡会議を通じて発信することを検討していきたい。そのことによって、町民に向けての注意喚起につながるようにしていきたい。 ・ 旭川市は、札幌市に行かないように発信している。ルールを明文化しているかどうかでインパクトが違う。次回の連絡会議で検討してほしい。 ・ 例えば、根室市は、声明を出して呼びかけている。町民の中には、別海町が何をやろうとしているのか見えてこないという声がある。ホームページを見れば、確かにさまざまな発信がされているが、メッセージ性が弱い。ぜひ、対応を検討の上、具体的な行動を求めたい。 ・ 庁内の本部会議、連絡会議の中で議論を深めていきたい。
総務部長	浦山		
議長	西原		
委員	13番	中村	
総務部長	浦山		
委員長	8番	松壽	
委員長	8番	松壽	
閉会挨拶			
12:05 閉会			